

今津運動公園（埋立跡地）



テニスコート



福岡方式

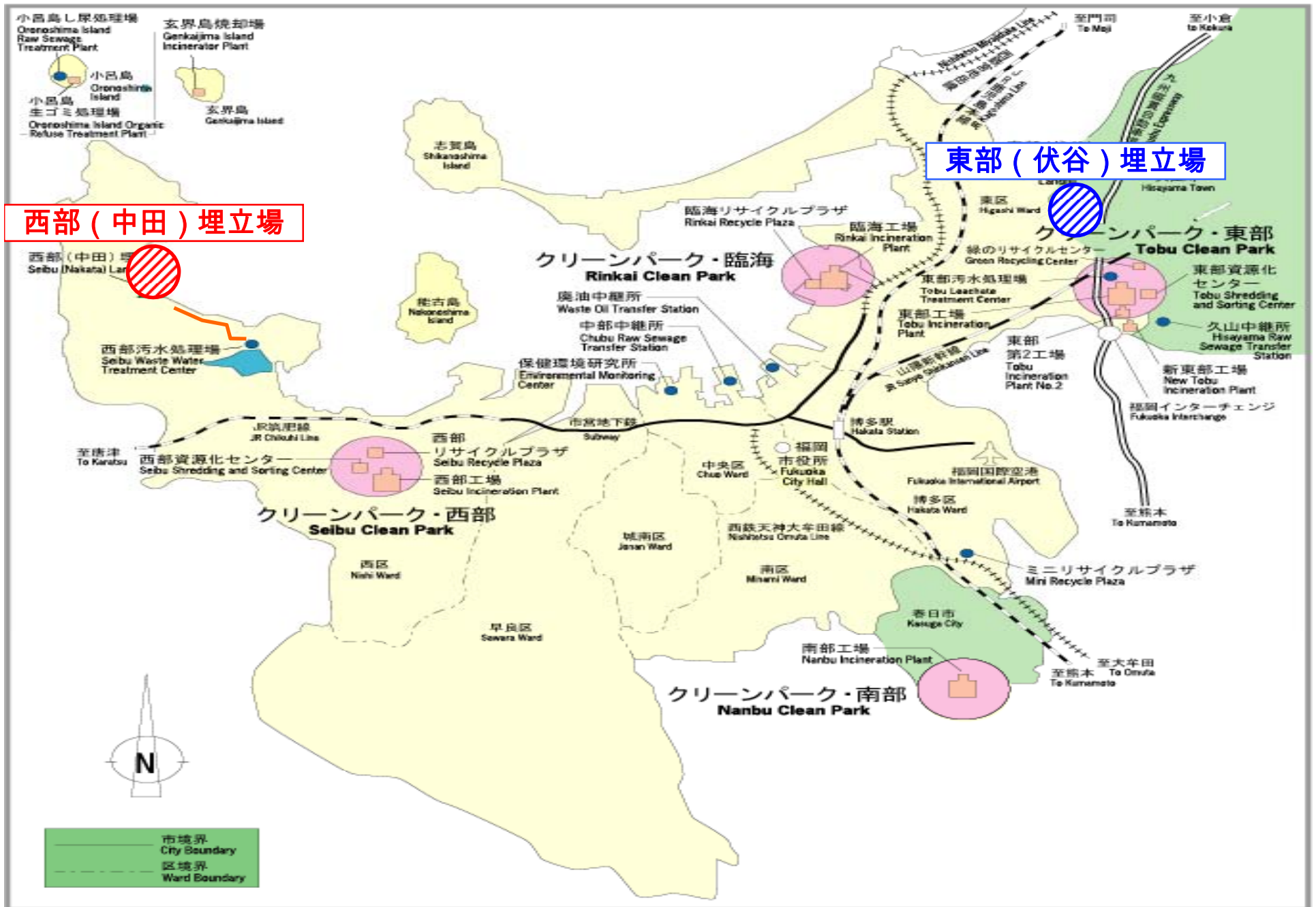
今津特別支援学校



今津リフレッシュ農園



福岡市の埋立場



東部（伏谷）埋立場



・・・埋立範囲

埋立場総面積：約644,000m²
埋立面積：約225,000m²
埋立容量：約374万t(3,400千m³)
埋立期間：1988年4月から30年間

埋立が完了した第1区画に設けられた久山グラウンドゴルフ場



2009年10月23日

跡地整備面積：13,000㎡
8ホール(240m)×2コース
供用開始：2007年8月1日

西部（中田）埋立場

埋立地（埋立面積）

敷地（総面積）

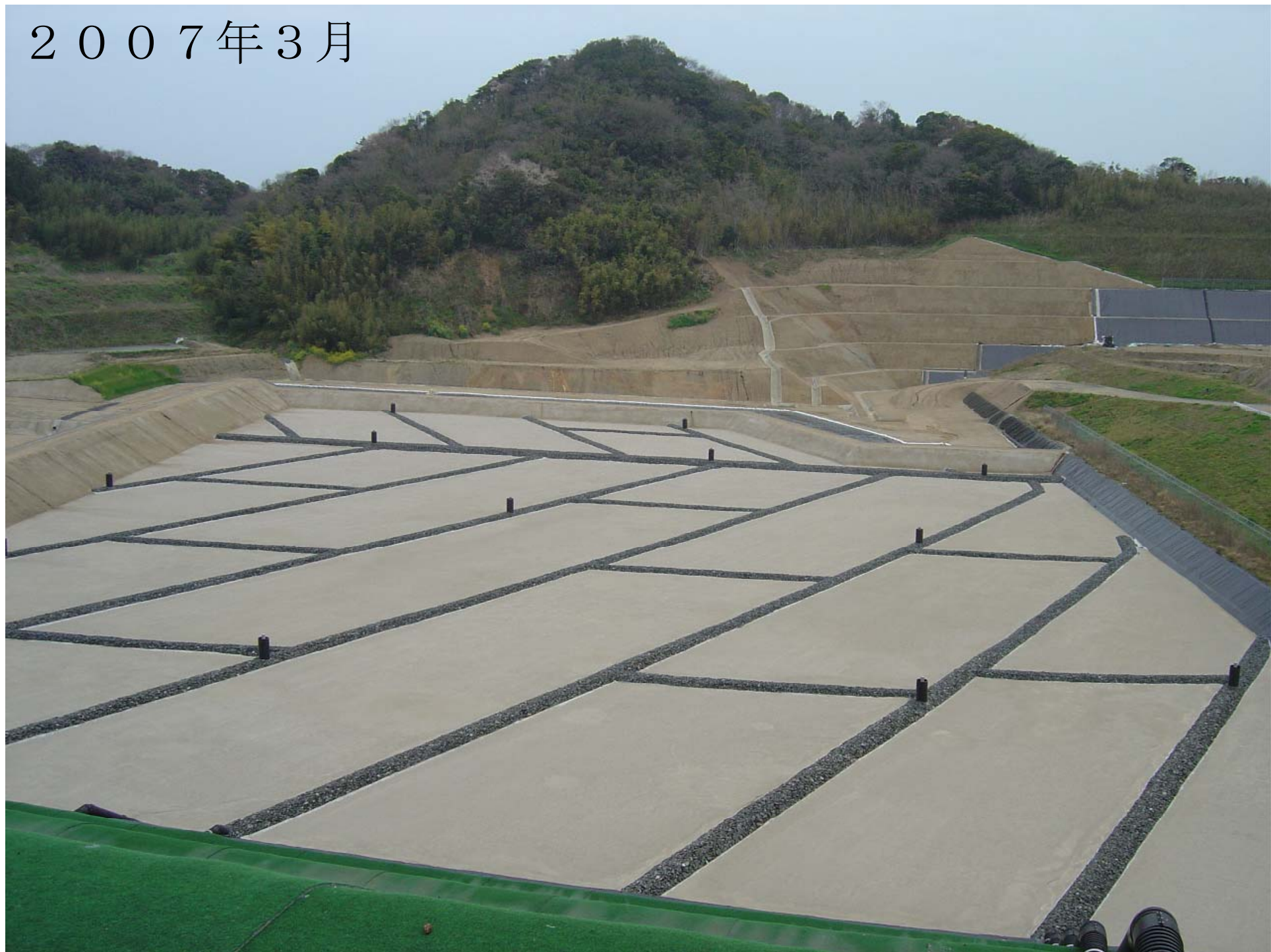
総面積：380,000m²

埋立面積：180,000m²

埋立容量：2,380,000 t（1,833,000 t（2009年3月末現在655,000 t）約28%埋立完了）

埋立期間：1996年から約20年間

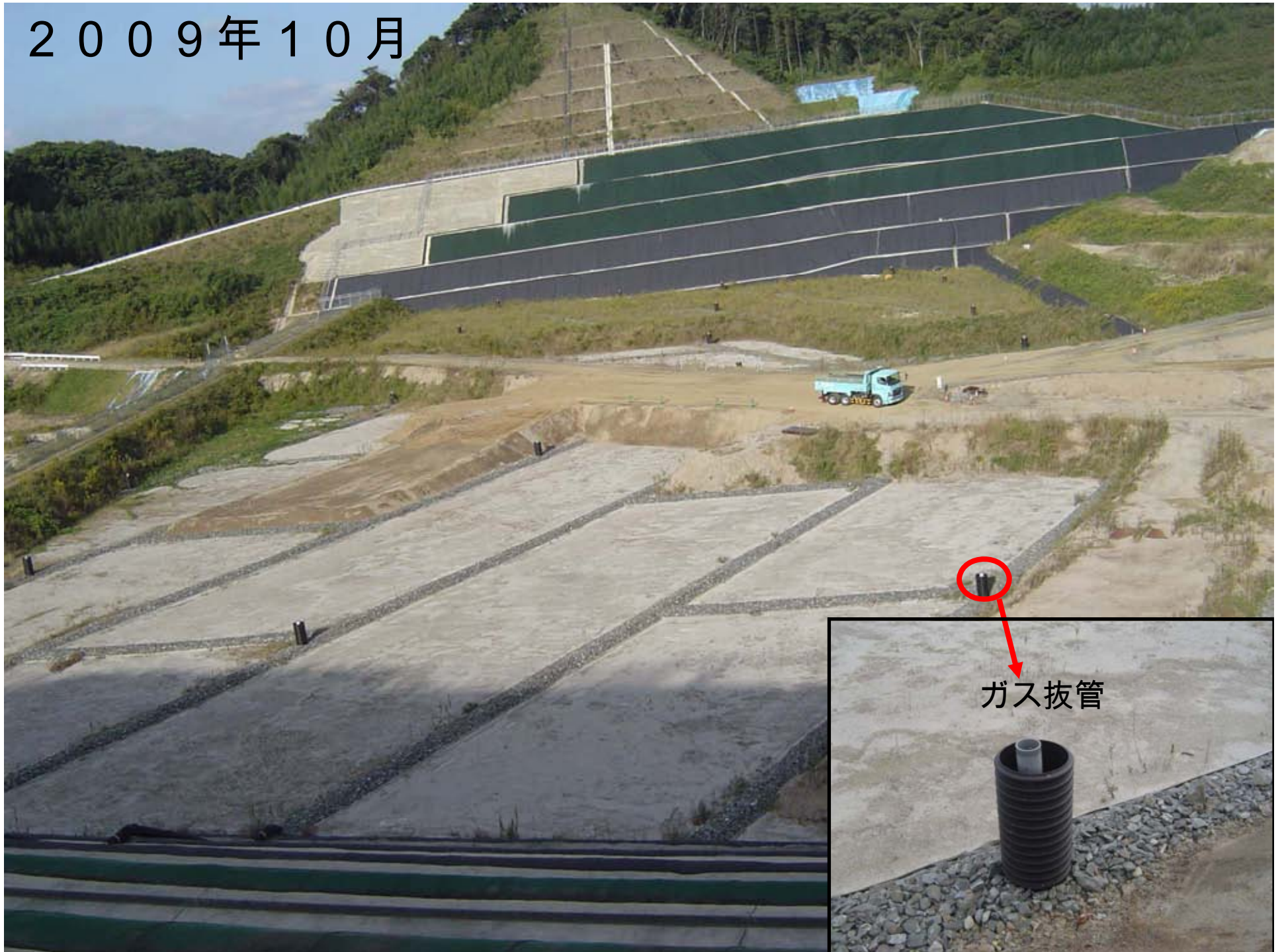
2007年3月



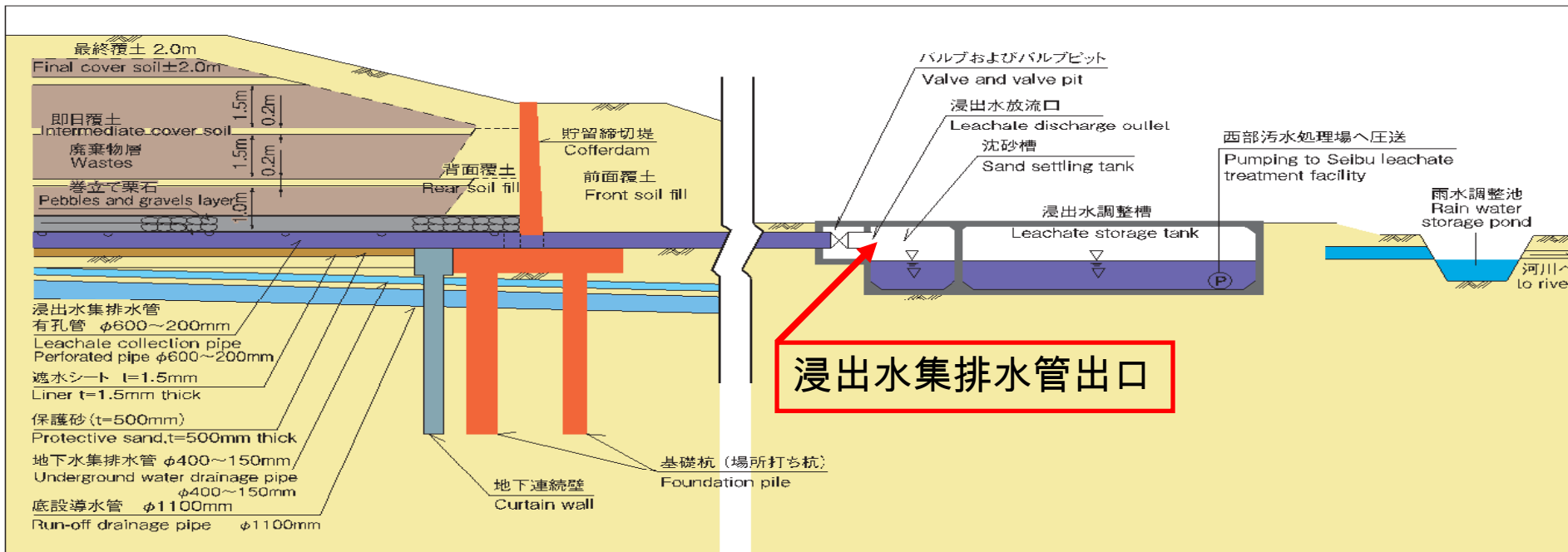
2007年8月



2009年10月



貯留締切堤周辺 Detailed view of cofferdam area



浸出水集排水管の施工例



浸出水集排水管放流口 Collected leachate outlet pipe





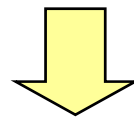
貯留締切堤

福岡方式（準好気性埋立構造）の開発経緯

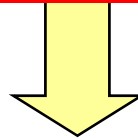


1970年頃の福岡市の埋立場（八田埋立場）

1960~70年代初めまでは、日本も現在の途上国と同じ状況であった（＝嫌氣的埋立）



有害浸出水、悪臭等の環境問題の発生



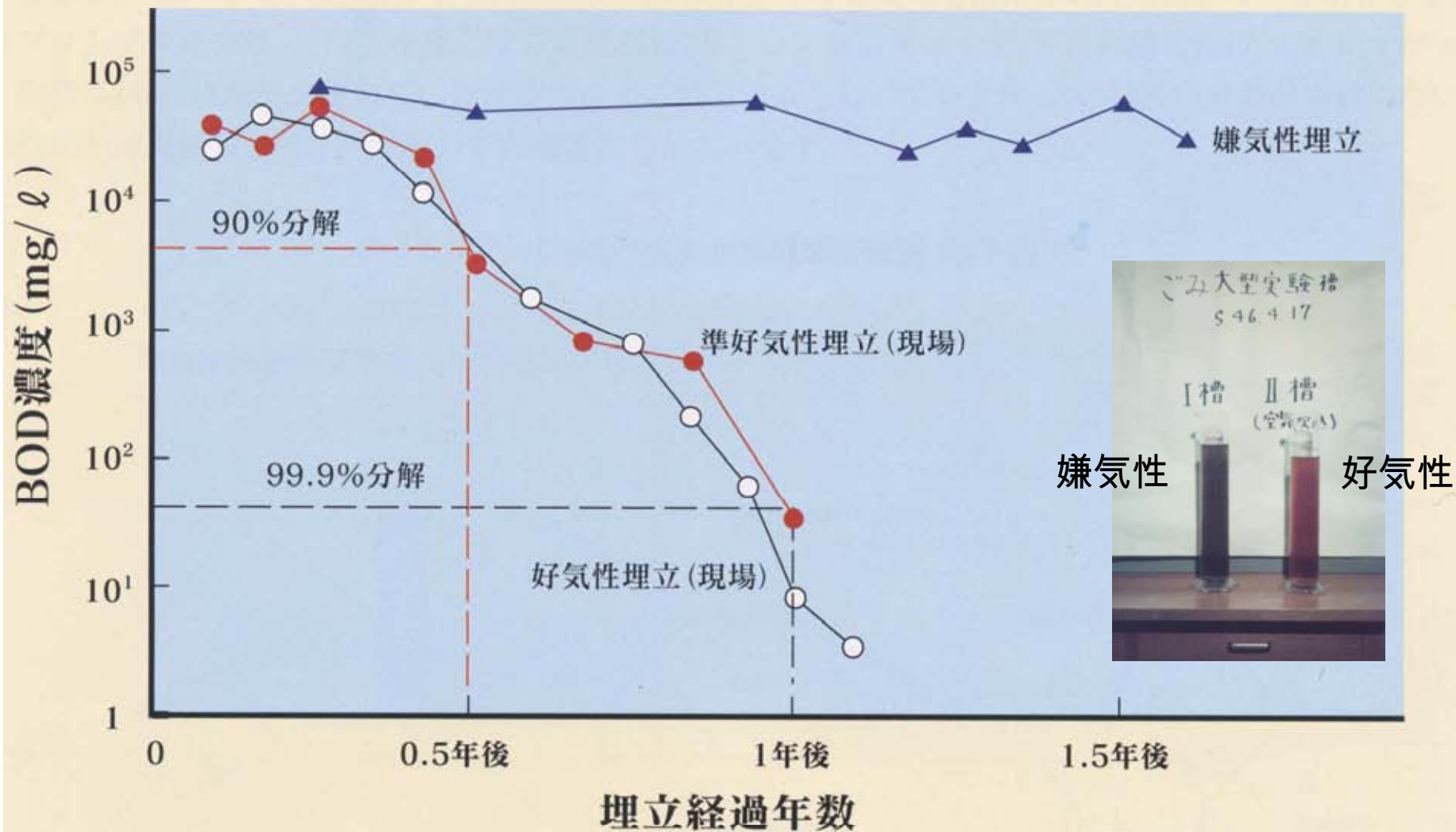
浸出水の浄化を目的とした埋立地改善実験の開始

福岡市と福岡大学による実験

1973年久山埋立場に建設された実験プラント
左：好気性埋立実験 右：改良型嫌気性埋立実験



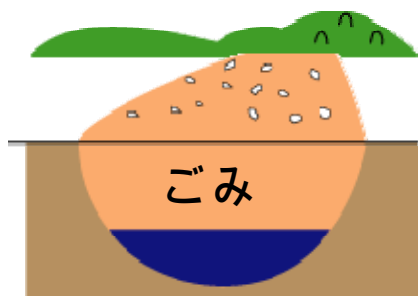
福岡方式の有効性 — 浸出水処理 —



埋立構造と浸出水中のBODの経時変化(可燃ごみ)

ごみの埋立構造の種類は主に3種類に分類

① 嫌気性埋立



- 二酸化炭素、メタンガスなどの有害物質の大量発生
- ごみは水浸しの状態であり、かつ嫌氣的

② 好気性埋立

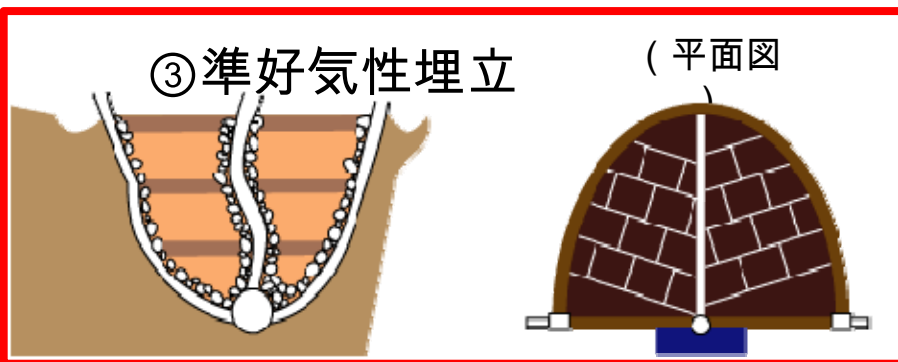


(平面図)

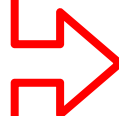
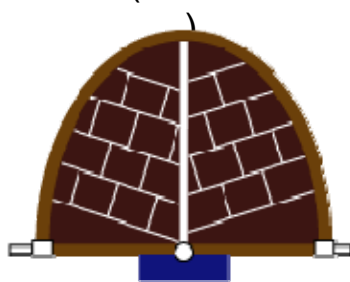


- 二酸化炭素、メタンガスなどの有害物質の軽減
- 浸出水処理が容易
- **建設、維持費が高い**

③ 準好気性埋立



(平面図)



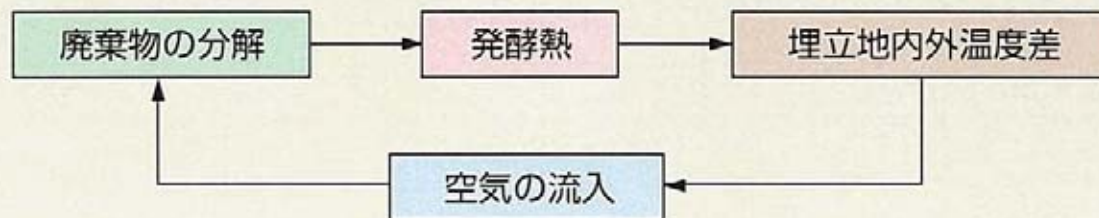
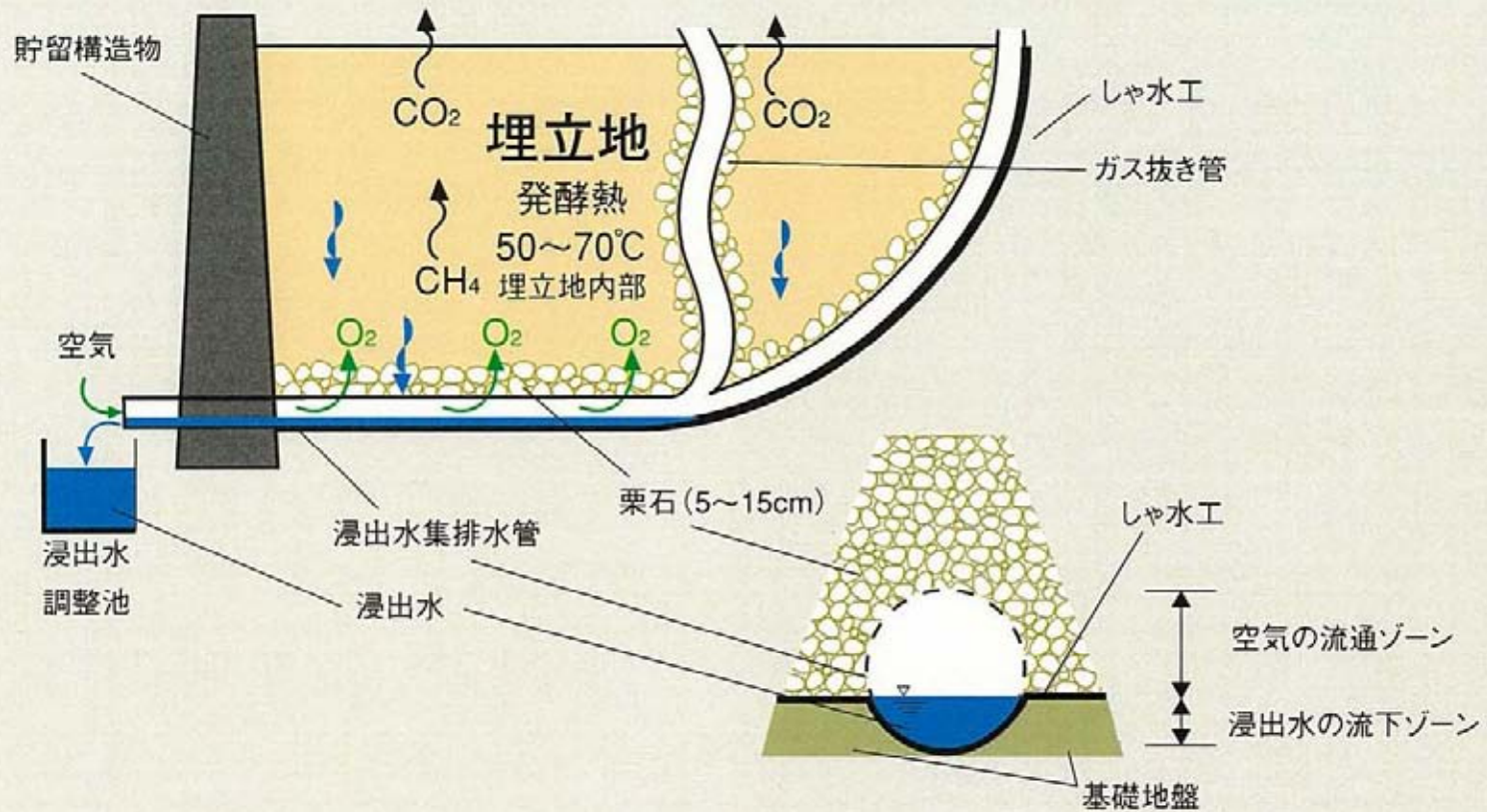
- 二酸化炭素、メタンガスなどの有害物質の軽減
- 浸出水処理が容易
- **建設、維持費が安い**



福岡方式

- 二酸化炭素、メタンガスなどの有害物質の軽減
- 浸出水処理が容易
- **建設、維持費が安い**

福岡方式（準好気性埋立構造）の概念図



福岡方式の特長

福岡方式とは？

福岡市と福岡大学の協力により開発された環境への負荷が少ない効率的な埋立方式（＝準好気性埋立構造）

特 徴

- 1 高度な技術が不要
- 2 低コスト
- 3 環境にやさしい

福岡方式の実施施工例 福岡市



準好気性埋立構造を日本で最初に採用した
新蒲田埋立場 1975年

跡地利用例



Post-landfill Site Utilization —Imazu Sports Park—



当時の今津埋立場の様子
埋立期間 1975 ~ 1999年

福岡方式採用の埋立地の跡地利用

テニスコート



今津特別支援学校



今津リフレッシュ農園



国際協力



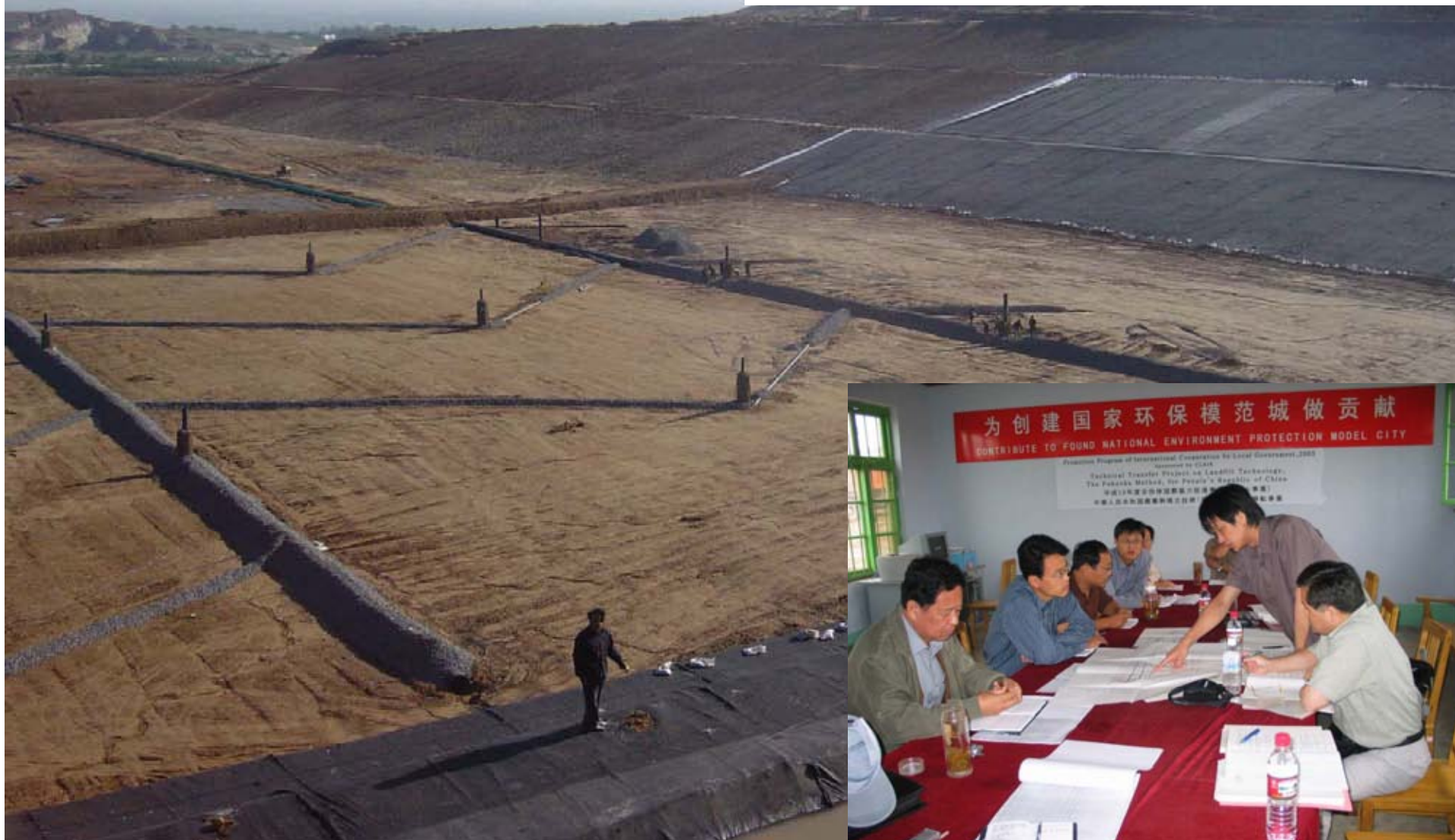
パキスタン国廃棄物処理対策研修



中華人民共和國 山東省維坊（ウェイファン）市埋立場

2003年10月

埋立面積	64,000m ²
埋立容量	約116万m ³
埋立期間	約3年間
埋立廃棄物	日量 約700t / 日





2004年9月

福岡市／博多湾西岸地区



終わり